

民衆の声
ボイス

No.106

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

令和6年度予算案 公明党市議団の要望が実現へ!

出産費用の助成
横浜市として最大**9万円**を
補助します。

横浜市独自の出産費助成を実施



公明党の推進で出産育児一時金が段階的に引き上がり、昨年4月から50万円に増額したものの横浜市の場合、費用が高額で賄いきれないとの声を受けてきました。出産費用の負担軽減に向けて、横浜市独自に**9万円**を上限に支給します。

山中市長に要望書を提出

1月5日に、山中市長に「出産費用の負担軽減に関する要望書」を提出しました。また、能登半島地震への市の迅速な対応を緊急要望しました。

能登半島地震へ迅速な支援を!

年初に発生した令和6年能登半島地震に伴い、横浜市は1月2日に「横浜市被災地支援チーム」を発足。現在は「横浜市災害対策本部」に移行させて、職員や車両の派遣をはじめ、災害用救護物資の提供など被災地に向けての迅速な支援を行っています。



パレスチナの平和を求める決議

昨年の11月30日の議会（第4回定例会）初日に「ガザ地区における平和の早期実現を求める決議」を採決。人道目的の即時停戦、国際法・国際人権法の遵守、人道支援物資の供給、戦闘地域の不拡大を議会総意として求めることを決議しました。



明るい未来への一歩 笑顔が広がる都筑区へ!

初当選し、横浜市議員として就業開始させていただいた2023年は、世界的にも激動の年でありました。国内でも物価高騰やエネルギー高騰、コロナ5類移行、地球沸騰化時代を思わせる猛暑、80万人を切る少子化、ルフィ広域強盗事件などがあり、本年は明るい希望ある日々となるように微力を尽くしてまいります。



横浜市議会議員
市来 えみこ
【都筑区選出】

学校開放における夜間照明と防災灯

都筑区を明るくするために、昨年の第3回市会定例会の一般質問において、「学校開放における夜間照明」や「夜間照明のLED化の推進」について質疑しました。昨年設置された戸塚区柏尾小学校での夜間照明は、「災害時」にも発電機等で照明がつけられましたが、これは日本でも初めての仕様です。一方、我が都筑区内には、まだ夜間照明を備えた学校がないため、今後LEDの夜間照明を推進していく中で、夜間のスポーツ時以外にも、災害対策機能の確保や、消防団の訓練時の照明確保をし

ていきたいと働きかけております。そこで、我が都筑区からも町内会長さんや消防団員さんと一緒に、戸塚区柏尾小学校を視察し、具体的な運営方法や財源の確保、現時点での課題などをヒアリングさせていただきました。

本年1月の第1回市会定例会における予算研究会に於いても、関係各局へ実現実施に向けて発言致しました。



プレミアム商品券

商店街プレミアム付商品券」についての質疑を致しました。我が都筑区では、昨年10月のハロウィンイベントに合わせて、「北山田の商店街」が、区内ではじめて、紙の商品券を発行しました。1セット1万円（一万3000円相当金額）、1000セットを販売したところ、3日で完売するなど大変好評だったそうです。経済局支援の本事業・プレミアム付商品券は、物価高騰に直面する市民の皆様を支援し、地域経済を活性化する施策であると思います。

早速、北山田商店街へ赴き効果をヒアリングしたとこ

ろ「新規の顧客が増えた」「売り上げが増えた」と喜びの声。消費者からは、「普段は高価で買えない〇〇の高級ケーキに手が届いた」「〇〇店に使えるのは嬉しい」「新聞代も払えた」など大好評でした。一方で、「本企画を知らなかった」「他の商店街にもあればいいのに」というお声もありました。本年1月の第1回市会定例会における予算研究会にて経済局へ、大好評の本事業継続と拡大をお願いしました。今後も本事業の実行支援や周知を実施してまいります。



都筑区 まちかどホットライン

せせらぎ公園の入口

駅前商店街へも通じる公園入口。石畳がきれいだけれど、高齢者の方から「杖がはまり、転倒して危険△」とお声。景観を損なわずに、段差を埋めていただきました。



X(Twitter)



Instagram

{E-mail} ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
{ホームページ} http://ichikiemiko.jp

令和6年度予算案に公明党の主張が大きく反映しました!

1.子育てを力強くサポート

幼稚園・保育園の人材確保を支援

- 保育士等の処遇を改善
- 医療的ケア児受入れのための看護職員を派遣
- ローテーション保育士雇用加算を拡充(加算区分の細分化)
- 宿舍借り上げ支援の戸数を増加

児童手当の拡充

- 所得制限を撤廃、高校3年まで対象拡大、多子世帯へ増額(第3子以降3万円)
※令和6年10月分から拡充(12月に支給)



- 出産・子育て応援金(10万円分)をギフト支給
- 小学校始業前の朝の居場所づくりをモデル実施
- ヤングケアラー支援を拡充
SNSによる相談事業をスタート
- 「医療的ケア児」支援がさらに充実
医療的ケア児サポート保育園を拡充(12→24園を認定)
- キッズクラブ・学童での夏休み期間の昼食提供をモデル実施

2.防災・減災への備えをさらに強化

学校体育館へのエアコン設置を加速

- エアコンを27校、大型冷風機を10校に新設

災害時の情報伝達手段の強化へ

- テレビプッシュ設置補助をモデル実施(1000件へ)

- 防災ベッド・感震ブレーカー等の設置拡大
- 災害時の障害者支援の拡充・福祉用具の備蓄や避難場所の整備
- 備蓄品へ液体ミルクを追加(段ボールベッドも公明党の提案で備蓄されています)
- 中学校グラウンドへの夜間照明設置推進

3.教育環境のさらなる充実を

不登校児童生徒へ寄り添った支援を強化

- 中学校における教室外登校(校内ハートフル事業)を拡充(55→80校へ)

給食室へのエアコン設置を加速

- モデル校9校に設置して効果等を検証

- 学校のバリアフリー、エレベーター設置を加速(30校へ倍増)
- 「中学校給食」がさらに利用しやすく!
令和8年度「みんなで食べる給食」へ、配膳室整備を加速
- 学校の先生の負担軽減を推進
清掃業務の外部委託、副校長のサポート職員を新規配置



4.誰もが安心して暮らせる街へ

防犯カメラの設置補助を拡大(150台)

- 補助上限額を16→21万円に拡大

- 市営住宅
住民の負担軽減へ、共益費の徴収、草刈り等を管理者が実施へ
- 带状疱疹ワクチンの定期接種化へ、市内での罹患状況を調査

地域交通の更なる充実へ

- 新たに12地区で移動サービスの導入検討・実証実験等を実施

- ワンストップの「お悔み窓口」をモデル設置(2区へ)
- 市内約2700公園で受動喫煙対策を実施
- 特別養護老人ホーム約1500人分を整備(竣工・着工を補助)

5.物価・エネルギー高騰対策へ追加施策

- 住民税非課税世帯へ7万円を給付
2月28日から順次支給を開始
- 横浜市エコ家電応援キャンペーン「エコハマ」第2弾実施へ、6月よりスタート



- 商店街の集客促進を支援
プレミアム商品券を発行する際のプレミアム分および事務費の一部を補助
- 自治会支援で町内会館の断熱化、エアコン導入、LED化を補助(補助率2/3)

政務活動最前線

横須賀市の終活支援を視察

行政が主導して、身寄りのない方の生前の意思確認から登録までを行うなど、市民の尊厳を守る取組みで全国をリードする横須賀市。福祉専門官の北見万幸先生より、課題や成果を伺いました。



横須賀市議会を訪問(11月9日)

市大の医療研究の更なる発展を

横浜市立大学福浦キャンパスを訪れ、再生医療研究やメタバース診療所など最新の研究を聴取。また、先端医科学研究センター・新興感染症研究センターでの最新の研究現場を訪れ、今後の研究成果に期待を寄せました。



市大学長などと意見交換(1月18日)

子ども・家庭に寄り添う療育へ



北部療育センター(11月28日)

北部療育センターの通園・診療施設等を視察し、低年齢化する相談対応の現状、求められる支援の変化や課題などを伺いました。

学校施設への夜間照明を推進

戸塚区の柏尾小学校を訪問。地域のスポーツの場の拡充と、災害時では地域防災拠点での安心の場の提供として、小中学校グラウンドへの夜間照明設置を推進しています。



地域の方と設置現場に(1月25日)